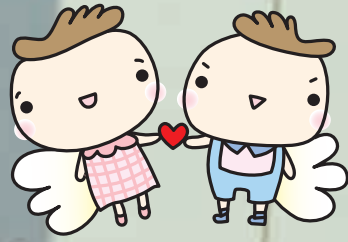


てとて

tetote



特集

防災から一人も見逃さない地域のつながりの大切さを考える

～熊本地震支援、地域福祉懇談会から感じたこと～
熊本地震・社協職員派遣レポート
防災会議（地域福祉懇談会）を経て感じたこと

平成27年度事業報告・決算報告
手をつなぐ育成会から米原市の皆様へ
大きくな～れ

回覧板は 一声かけて 手から手へ

～米原市社協では、地域での
見守り活動を推進しています～

「この広報紙は音訳ボランティアによって視覚障がい者の方に音声でもお届けしています。」

《写真》
赤十字奉仕団の協力のもと、
春照小学校にて、
防災について学び合う風景

「防災から一人も見逃さない地域のつながりの大切さを考える」 熊本地震支援、地域福祉懇談会から感じたこと

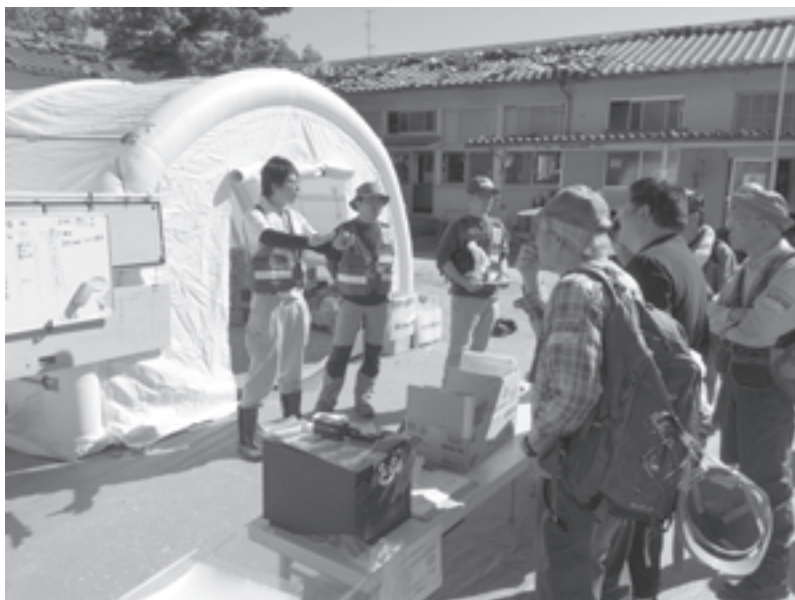
今回災害ボランティアセンターの運営支援を通して、実際被災地へ行って感じたことや地域での出来事などをお伝えします。

熊本地震・社協職員派遣レポート

社会福祉協議会では全国で災害が起きた際に被災地でのボランティア活動を円滑に進めるため、災害ボランティアセンターを立ち上げ被災地の支援を行っています。

4月に起きました熊本地震にも近畿ブロック社会福祉協議会職員派遣の要請に基づき、米原市社会福祉協議会として5月6月にかけて熊本県西原村の災害ボランティアセンターの運営支援として職員3名を派遣しました。

災害ボランティアセンターは災害発生後開設され、被災者からの相談窓口としての機能とその相談をボランティアへつなげる機能があり、具体的には、被災家屋（個人宅）のがれき除去や清掃の相談受付や被災生活での困



りごとの聞き取り調査などを行い、支援活動を希望しているボランティアや団体へ受けてもらえるように調整を行っています。



長 課 員
田 中 雄 一
地 域 福 祉 課

みんなが被災者の中で、支援が必要な要支援者宅を回

り、支援ボランティアを自宅まで案内される自治会長さんもおられました。一方で、行政の支援やボランティアの支援などの情報がいきわたりにくい状況もありました。災害を地域で受け止め、一人も見逃さない地域のつながりの大切さを実感しました。



課 員
吹 憲 吾
地 域 福 祉 課

地図にボランティア活動場所を落とすとしていくと、地域

ごとに差があることに気づきました。聞けば数が多い地域は、近隣の方から「あの人が、助けてあげて」とたくさん連絡が入るそうです。普段からのつながりづくりが大切だと感じました。

防災会議（地域福祉懇談会）を経て感じたこと

■能登瀬自治会長 喜田和男氏

ここ数年、全国各地で震災や異常気象等で高齢者や障がい者等、避難行動要支援者の多くの方々が犠牲になられています。このことは決してよそ事ではなく、湖北地方で死者34人の犠牲者が出たかつての姉川地震級の大地震がいつでも起こりうるという危機感を持つことが大事です。

■能登瀬民生委員児童委員 古野輝男氏

能登瀬自治会では、いざという時には一人も犠牲者を出さないという強い信念のもと、市からいただいた要支援者名簿に自治会独自の名を追加して、平成28年度版「能登瀬ふれあい絆マップ」を完成させ、区民の皆様を知っていたら、日頃の見守り活動を基盤にしながら、要支援者の情報伝達体制や避難支援体制を整えたいと考えています。

■米原市健康福祉部 くらし支援課 課長補佐 高木進一氏

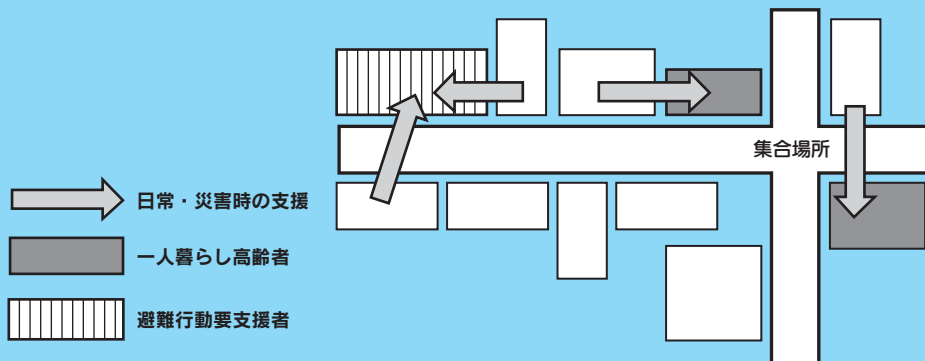
近年、地震、集中豪雨や台風による風水害が多発している中、高齢者や障がい者等の避難行動要支援者が犠牲者の多くの割合を占めていることから、要支援者が安全・迅速に避難できるための支援体制を整えておく必要があります。



避難行動要支援者への支援体制づくりの見直し、3年ぶりに始まりました。米原市の取り組みが、自治会役員の行動を促し、災害時の避難支援や日常の見守り支援体制が協議されました。防災会役員の組長さんや近隣の方々が支援者となり、災害時や日々の生活の中で声掛け見守りが実施されることとなります。平時からのつながりがますます重要となってきました。感じます。

災害時は、避難行動等が困難である要支援者の自助および地域の互助（支え合い）が大きな役割を果たすことから、本人・家族・地域ぐるみで災害対策に取り組むことが大切です。市としては、避難支援体制や情報伝達体制が災害時に円滑に機能するよう日常的な見守り体制などを構築し、要支援者の安全・安心の強化を図っていきたく考えていますので、地域におかれましては、要支援者の心身の状況把握や避難支援プランの作成を通して避難支援体制づくりに御理解と御協力をお願いいたします。

避難支援体制づくり



誰が誰を支えるのか決めておくイメージ図

平成27年度 事業報告

生活困窮者自立支援法の施行や介護保険制度の改正にともなう日常生活総合支援事業の準備などが進められた中で、「つながりで 地域の暮らしを支える」ことを活動推進の柱とし、地域社会での助け合い・支え合いの理念に基づき、「相互に支え合う」地域づくりに向け取り組みました。

1 地域をつなぐ活動

コミュニティソーシャルワーカーが地域に出向き、個別のニーズにも対応し、関係機関へつなぐなど、支援に努めました。また、相談窓口の充実と寄り添い支援の強化を図り、なんでも相談会など広く相談支援活動をすすめました。

- ・ ニーズ・社会資源の把握と分析
- ・ ネットワークの構築
- ・ 相談支援
- ・ 広報・情報発信等の展開
- ・ 福祉活動団体支援
- ・ 当事者団体活動支援
- ・ 福祉サービス事業者支援
- ・ 地域福祉活動拠点の活用
- ・ 善意銀行
- ・ 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金



社協広報 てとて

2 地域の福祉力を高める活動

小地域福祉活動の推進に向け、地域福祉懇談会の開催を呼びかけ、自治会での課題・活動の共有をすすめました。また、地域支え合い活動では、支え合いセンターを中心に地域と商店や企業などをつなぐことができました。

- ・ 小地域福祉活動の推進
- ・ ボランティア活動の推進
- ・ 福祉学習・啓発
- ・ 福祉介護人材の育成



大清水移動販売

3 暮らしを支える活動

権利擁護センターにおいて、成年後見制度の利用支援や啓発活動、地域福祉権利擁護事業、法人後見の受任等に取り組みました。さらに就労準備支援事業・家計支援事業のほか、社会的に孤立しがちな方を対象に居場所を開設しました。

また、就労準備支援の協力事業所として市内事業所に働きかけ、多くの内諾を得ることができました。

介護保険サービスでは、「活動」と「参加」に焦点をあてた効果的な取り組みがもとめられる中、利用者の自立を促す工夫として、施設環境の改善に取り組むほか、在宅生活の継続を支援するための様々なプログラムを企画し、提供しました。

障がい福祉サービスでは、障がいのある方の地域生活を支援するために、多様な障がい特性や生活スタイルに応じた適切な支援ができるよう、関係機関や団体、企業等との連携を図りながらサービス提供にあたりました。

- ・ 地域福祉権利擁護事業
- ・ 介護保険事業
- ・ 障がい者福祉サービス
- ・ 子育て支援
- ・ 放課後児童クラブ
- ・ ファミリー・サポート・センター事業
- ・ 生活困窮者自立支援事業（就労準備支援・家計相談支援）
- ・ 生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業
- ・ 介護予防事業
- ・ その他の生活支援



子育て支援講座

4 災害に強いまちづくり活動

福祉マップの作成・更新に向けて、地域へ働きかけを行うとともに、避難所運営ゲーム（HUG）等の実施や運営サポーターを育成するために運営サポーター養成講座等を開催しました。

- ・ 災害支援体制の構築
- ・ 災害ボランティアセンターの設置運営
- ・ 小地域における災害対策支援



災害ボランティアセンターの設置運営訓練

5 推進体制の充実・強化

職員が社会福祉に関する研究活動に取り組み、専門性の向上と先駆的な活動発表の場として自主研究報告会を行いました。

また、子育て支援として子連れ出勤やストレスチェックの導入等、職場環境の向上にも努めました。

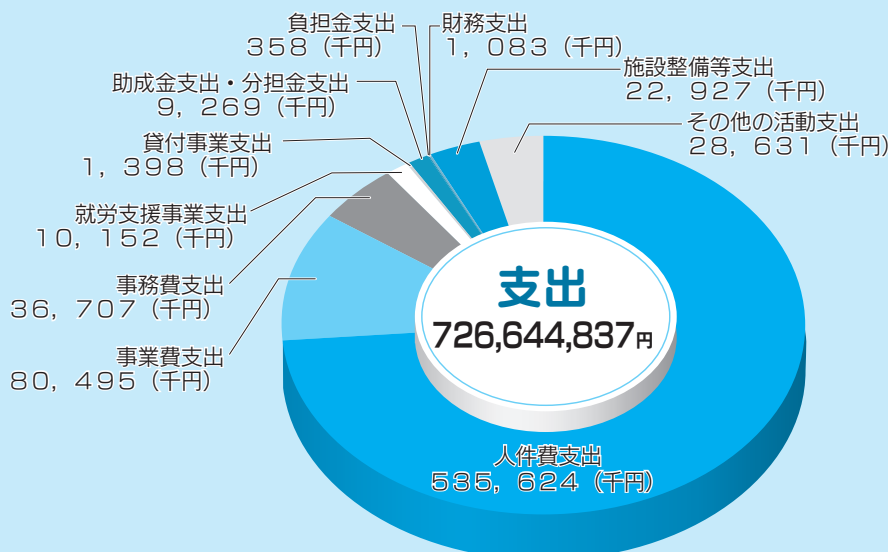
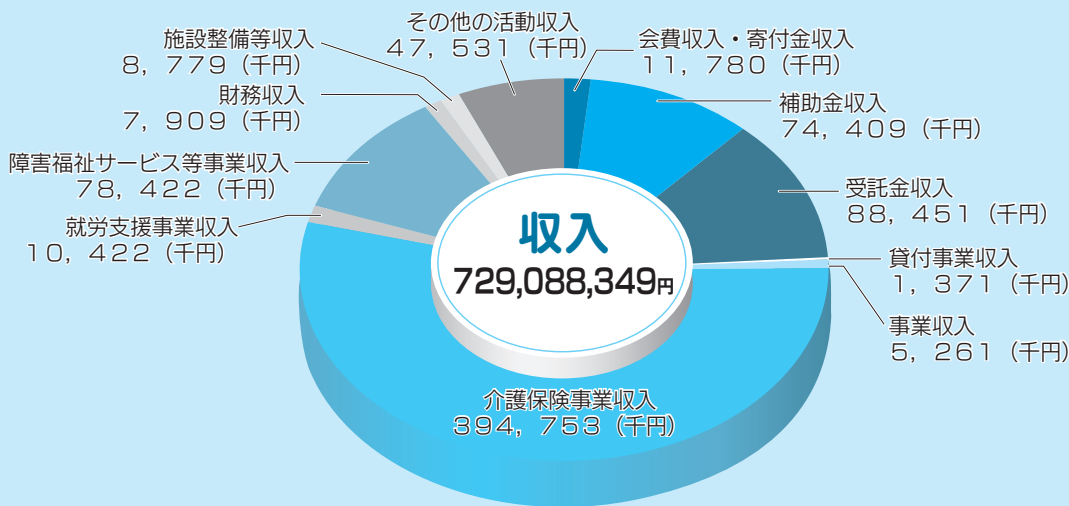
- ・ 評議員会・理事会の運営
- ・ 財政の健全化
- ・ 情報公開と監査機能の充実
- ・ 各種積立金の適正化
- ・ 会員・会費制度の検討
- ・ 人材育成活用システムの確立



社会福祉協議会職員自主研究報告会

平成
27
年度

社会福祉法人米原市社会福祉協議会決算報告



全国手をつなぐ育成会連合会から

手をつなぐ育成会から米原市の皆様へ

津久井やまゆり園の事件について
(障害のあるみなさんへ)

7月26日に、神奈川県にある「津久井やまゆり園」という施設で、障害のある人たちが殺される事件が起きました。

容疑者として逮捕されたのは、施設で働いていた男性でした。

亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、そのご家族にはお悔やみ申し上げます。

また、けがをされた方々が一日でも早く回復されることを願っています。

容疑者は、自分で助けを呼べない人たちを次々におそい、傷つけ、命をうばいました。

とても残酷で、決して許せません。

亡くなった人たちのことを思うと、とても悲しく、悔しい思いです。

容疑者は「障害者はいなくなればいい」と話していたそうです。

みなさんの中には、そのことで不安を感じる人もたくさんいると思います。

そんなときは、身近な人に不安な気持ちを話しましょう。

みなさんの家族や友達、仕事の仲間、支援者は、きっと話を聞いてくれます。

そして、いつもと同じように毎日を過ごしましょう。

不安だからといって、生活のしかたを変える必要はありません。

障害のある人もない人も、私たちは一人ひとりが大切な存在です。

障害があるからといって誰かに傷つけられたりすることは、あつてはなりません。

もし誰かが「障害者はいなくなればいい」なんて言っても、私たち家族は全力でみなさんのことを守ります。

ですから、安心して、堂々と生きてください。

平成28年7月27日

全国手をつなぐ育成会連合会
会長 久保 厚子

平成28年7月26日に発生した、神奈川県相模原市「津久井やまゆり園」で起きた悲しい事件を受け、全国手をつなぐ育成会連合会から声明文が発表されました。今回その声明文を掲載するとともに、米原市手をつなぐ育成会からのメッセージをお伝えすることで、改めて市民の障がい者に対する理解を深める機会になれば幸いです。

手をつなぐ育成会とは…
知的障がいのある人とその家族や関係者(支援者)で活動する組織で、全国各市町村に結成されています。会員同士の交流や情報交換を通じ、子どもたちの今や将来が良くなり、安心して暮らせるように、障がいを持つ子どもたち(本人たち)の声や思いを、市町村や県・国に届けています。



米原市手をつなぐ育成会連合会から

私達は現在、糸賀一雄氏（近江学園創設者）の『この子らを 世の光に』という福祉の原点をテーマに滋賀県下の知的障がい者・保護者・福祉関係者、約800人が一堂に集い、改めて障がい者の福祉を考え合う「第51回滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会」の準備を進めております。

「この子らに世の光を ではなく この子らを世の光に」が糸賀氏の最後の言葉でした。障がいのあるこの子らが光を発し、その光に自分が照らされて、輝く命の発見と驚きの叫び声だと思えます。障がい者から、自分自身が本当に輝く命・尊い命の持ち主だと教えられたとき、誰もが争いのない社会・差別のない社会・人権尊重の社会・愛と共感の社会・人として当たり前のできる社会になると信じます。

今回の事件では「障がい」を理由に、声が出せない、抵抗すらできない19人もの命があつという間に奪われました。（負傷重傷の20人を含む26人が負傷）驚きと、憎しみと、悔しさ、悲しみと涙に包まれました。残念で、残念でなりません。亡くなられた方々には哀悼の意、ご家族の方々にはお悔やみを、怪我をされた方々にはお見舞いを申し上げます。この事件を縁として、改めて命の尊さ・輝く命・障がい者の福祉とはどういうことなのかと考えていきたいと思えます。

日本の国に本当に輝きが参りますように、世界が本当に平和と喜びに満ちますように、自覚者が責任を持ちます。 ～糸賀一雄 氏の言葉より～

米原市手をつなぐ育成会一同

第51回滋賀県知的障がい者 教育福祉振興大会 in 湖北

- 日 時** 平成28年**10月9日**(日)
9:30~15:30
- 場 所** 滋賀県文化産業交流会館
- 内 容** 記念式典（表彰等）
記念講演（講師：溝口 弘氏）他
- 参加費** 1,200円（昼食代含む）



米原市手をつなぐ育成会では、各旧町域に支部組織を設け、活動を行っています。市内にお住いの知的障がいのある人とその家族、関係者(支援者)で育成会活動に参加、加入したいとご希望の方は、事務局（米原市社会福祉協議会内）までお問い合わせください。

問い合わせ先 電話：54-3105またはEメール：maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

今年も共同募金運動が始まります!!

皆さまのやさしさが米原市の地域福祉を支えます。今年も共同募金へ
温かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

募金運動期間 10月1日～12月31日

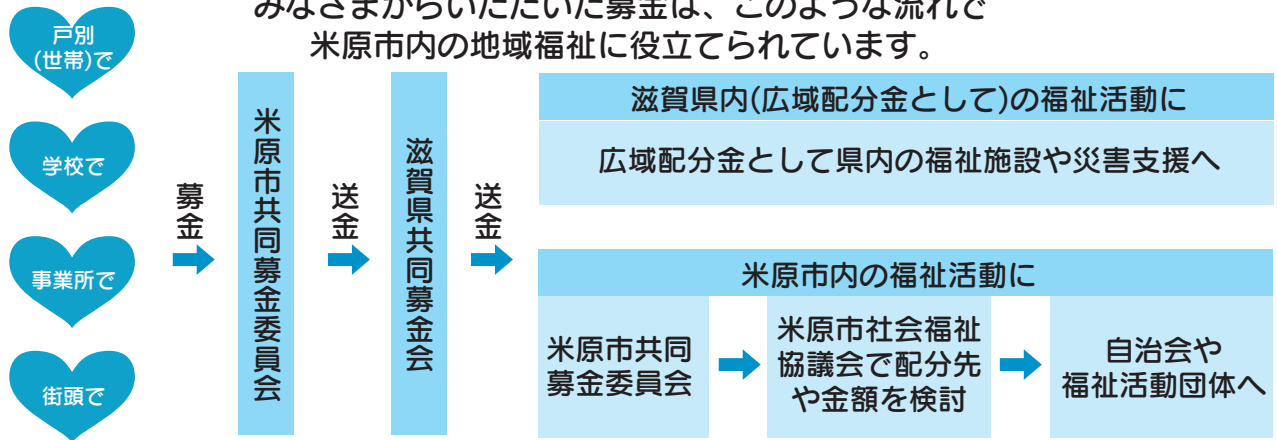
ご協力よろしくお願ひします。



- 戸別(世帯)募金…自治会を通じて協力を呼びかけます。
- 学校募金…幼稚園、小中高の学校に協力を呼びかけます。
- 法人募金…企業、事業所に協力を呼びかけます。
- 街頭募金…駅前や店舗前、イベント会場で募金を呼びかけます。



みなさまからいただいた募金は、このような流れで
米原市内の地域福祉に役立てられています。



平成27年度の共同募金による福祉活動の一部を紹介します。

やすらぎハウス周辺の樹木の剪定や除草作業(みどりの会)



男性のためのいきいき料理教室(老人クラブ、健康推進員、社会福祉協議会共催事業)



「高齢者の健康増進と認知症予防研修会(米原市視覚障害者協会)



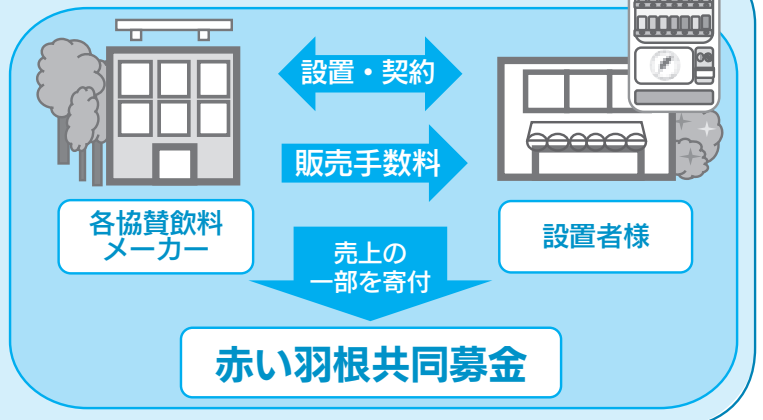
置いてみませんか? 『じぶんの町(米原)を良くする自動販売機』

- 自動販売機の設置・管理は、無料です。
- 売上の一部が共同募金へ寄付されます。
- ご負担は、月々の電気代のみです。

自動販売機で飲み物を買う人も、設置する人も
気軽に、地域貢献にご協力いただけます。

※詳しくは、お問い合わせください。

総務課：54-3105



* 企業法人からの共同募金への寄付金は、法人税上「全額損金」となります。
* 個人からの共同募金への寄付金は、所得税・住民税にかかる寄付金控除の対象となっています。

相 談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

<問合せ> 米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度です。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります）。

<問合せ> 米原市 暮らし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

相談日	会 場	相談日	会 場
9月 6日(火)	やすらぎハウス (顔戸21-2)	10月 4日(火)	やすらぎハウス (顔戸21-2)
9月13日(火)	ルッチプラザ (長岡1050-1)	10月12日(水)	ルッチプラザ (長岡1050-1)
9月20日(火)	ゆめホール (三吉570)	10月18日(火)	ゆめホール (三吉570)
9月27日(火)	愛らんど (春照56)	10月25日(火)	愛らんど (春照56)

* 10月12日(水)は定例の火曜日ではありません。ご注意ください。

・法律相談

法律に関わる相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場	相談日	会 場
9月 8日(木)	愛らんど (春照56)	10月13日(木)	やすらぎハウス (顔戸21-2)

料金 1,000円。時間はいずれも10時～12時までで、1回30分以内。

<問合せ・申込み> 米原市 暮らし支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

善意銀行だより

平成28年4月1日～平成28年7月31日（敬称略）

〔金銭預託〕

西堀守弘・鹿取和幸	20,000円
扶桑工業株式会社	200,000円
匿名	50,000円

〔物品預託〕

米原の自然の恵み	筍
匿名	筍
匿名	消しゴムはんこ・手さげカバン
村岡 浩和	リハビリパンツ・パット
真野 修	おはぎ
上多良漁業協同組合	小鮎
宇賀野福祉会園芸ボランティア	ベゴニア苗
匿名	米
顔戸長生会女性部	タオル
匿名	おむつ
匿名	野菜
田中 俊三	エアロバイク

*他 季節のお野菜や果物をたくさんいただき、有難うございました。



扶桑工業株式会社様

- 理事会
議案第1号 評議員の補充選任同意について
- 平成28年度第1回評議員会（書面審議）
- 平成28年度第2回評議員会 平成28年5月26日(木)
議案第1号 平成27年度事業報告について
- 議案第2号 平成27年度決算について
- 議案第3号 居宅介護支援事業所運営規程の変更について
- 議案第4号 通所介護事業所運営規程の改正について
- 議案第5号 訪問介護事業所（ヘルパーステーション 米原・ヘルパーステーション近江）の統合について
- 評議員会
議案第1号 理事の補充選任同意について
- 平成28年度第1回評議員会（書面審議）
- 平成28年度第2回評議員会 平成28年5月27日(金)
議案第1号 平成27年度事業報告について
- 議案第2号 平成27年度決算について

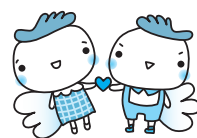
会

務

平成28年度
米原市社会福祉協議会の
普通会費をお願いしましたところ
8,603,000円ご協力をいただきました。
ありがとうございました。

(平成28年7月31日現在)

ご協力いただきました社協会費は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、有効に活用させていただきます。地域の皆様に心よりお礼申し上げます。



災害の備えに役立つ 出前講座あります！

今年度から、新しい出前講座を実施しています！社協職員と災害ボランティアセンター運営サポーターで、地域に向いて災害に備えて地域でできる大切なことを伝えていきます。地域福祉懇談会や各種団体での研修会など地域の集まりでご活用下さい。

避難所運営ゲーム—HUG（ハグ）

いざ災害が起きたとき、地域の避難所を運営する立場になるかもしれません。避難所役員になったつもりで、運営を模擬体験します。

防災カードゲーム—クロスロード

こんなときあなたなら助ける？助けない？災害時は迷うことばかり。起きてみないことにはわからない災害ですが、どんなことに迷うことがあるか、カードゲームで体験します。



支援の輪を広げよう！まいばらくまモン隊活動しています！

熊本地震の知らせを聞いて、米原市でも支援の輪を広げようと災害義援金街頭募金活動ボランティア「まいばらくまモン隊」を募集しましたところ、たくさん参加いただきました！下記のとおり、市内イベントで募金活動を行いました。くまモン隊参加者数は延べ26名です。また、まいばらくまモン隊の活動に賛同し、快く会場提供をいただいたイベント主催者様、くまモン隊のみなさま本当にありがとうございました。

《道の駅近江母の郷20周年&近江母の郷フェスタ2016》

- 活動日時：5月29日（日）10時～14時
- 会場：道の駅近江母の郷
- 募金額：40,996円

《天の川ほたるまつり》

- 活動日時：6月4日（土）16時～19時
- 会場：ルッチプラザ駐車場
- 募金額：27,556円

《軽トラ朝市》

- 活動日時：6月11日（土）8時30分～10時
- 会場：米原駅東口広場
- 募金額：12,426円

《ふるさと歌謡ショー》

- 活動日時：6月12日（日）12時～14時
- 会場：伊吹薬草の里文化センターロビー
- 募金額：20,698円

募金総額 101,676円（6月末現在） ※義援金の受付を平成29年3月31日まで延長しています。

街頭募金活動用てんてん&くまモン看板貸出します。



今回の「まいばらくまモン隊」の活動に合わせて作成した、街頭募金活動用くまモン看板を貸出します。米原市社協公式キャラクターてんてん看板もありますので、これから街頭募金活動をしてみたいという方はお問い合わせください。

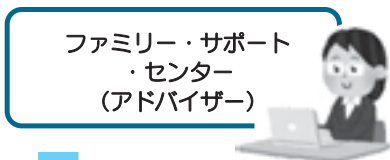
お問い合わせ先：米原市ボランティアセンター 電話番号：0749-55-3933

※くまモン看板作製にあたり、くまモンイラスト使用について熊本地震支援活動にのみ使用する許可を得ています。

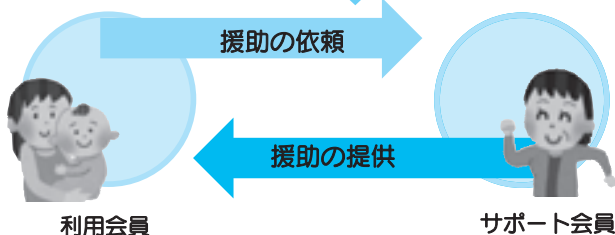
米原市ファミリー・サポート・センターのご案内

地域の住民同士で子育てを支え合うしくみです。

育児の援助を受けた
い人で行いたい人が
会員となり、ファミ
リー・サポート・セ
ンターが仲介して、
会員同士が支え合
います。



会員募集中！



**子育てサポーター養成講座、
開催します！**

日時：平成28年9月3日（土）
午後1時から午後5時まで

場所：ゆめホール（米原市三吉570）

どんな時利用できるの？

例えば…



急な冠婚葬祭の
あいだ預かる



保護者が病気で
通院するあいだ預かる

※上記は一例です。お気軽にセンターまで
お問い合わせください。

ご利用等詳しくは、
米原市ファミリー・サポート・センター事務局
(電話：55-3933) までお問い合わせください。

法律・福祉・高齢・障がいなど

なんでも相談会 in 米原/ 開催のご案内

みなさんが抱えている心配ごと、悩み、不安などについて弁護士・司法書士・社会福祉士・行政職員・社協職員他が相談をお受けします。

予約不要
相談無料

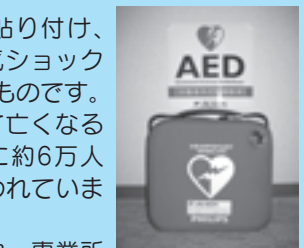
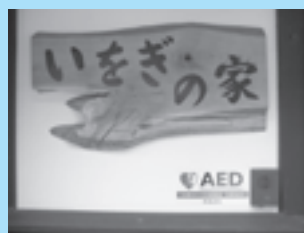
- 日時：平成28年9月10日（土）
13：30～16：30
(相談受付時間：13：15～16：00)
- 場所：米原地域福祉センターゆめホール
(米原市三吉570)
- 対象：米原市在住の方
- お問合せ先：米原市社会福祉協議会 本部
TEL 0749-54-3105

いぎの家にAEDを設置しました。

ご利用者様をはじめ、地域住民の皆様、周辺を通りかかられた方々の万が一の事態に備え、AEDを設置いたしました。

AEDは『自動体外式除細動器』（じどうたいがいしきじょさいどうき）といい、『心臓が止まって倒れた人』の蘇生に有効な器械です。体に電極のついたパッドを貼り付け、器械が必要と解析した場合に電気ショックを与え、心臓を正常な状態に戻すものです。

実際に心臓の発作により倒れて亡くなる方は年間に約6万人いるといわれています。



事業所内、事業所外に関わらず、万が一の際にはご利用ください。

また、設置の際には、職員がAEDの使用方法についての講習会を受講しております。

今年も6月7日から、子育て中の悩みや喜びを仲間とわかりあえる様なサークル作りを目的に「こもち〜ズ広場」を開催しました。

体幹をテーマとした今回の広場の様子をお知らせします。

米原市のみなさんに役立つ子育て情報をご紹介します

大きくな〜れ



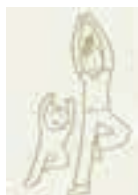
こもち〜ズ広場 in やすらぎハウス



オリジナルの下駄ポックリ作り。釘はうまく打てたかな？



体幹に良いと言われるトランポリンとボールで遊びました!(^^)!



最後はみんなでハイハイ&下駄ポックリ競争!!



日本ママヨガ協会の武田英里香先生のヨガ体験♪



健康運動実践指導者の横田佳子先生の体幹トレーニング講座は、孫育て支援講座との合同企画。じいじ・ばあばと一緒にエクササイズ♪



わが家のアイドル



浅岡侔輝ちゃん 2歳
パパもママもテニスが大好き!!
大きくなったら一緒にテニスしようね!

今後は、サークル『ちび〜ず』として、やすらぎハウスを拠点に活動されることとなりました!(^^)!

地域のボランティアさんに下駄ポックリの部品を丁寧に作っていただくなど、今回も地域の方に支えられての子育て支援講座でした。本当に感謝いたします!!

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL54-3105 FAX54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

山東地域福祉活動センター 米原市ボランティアセンター

米原市池下428番地
TEL55-3933 FAX55-3933 m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内
TEL58-1770 FAX58-2231 m-shakyo-s.ishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL54-3110 FAX54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
TEL52-1463 FAX52-8051 m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

発行：平成28年9月1日

社会福祉法人 米原市社会福祉協議会

TEL 0749-54-3105 FAX 0749-54-3115

http://www.maibara-shakyo.or.jp/

〒521-0023 滋賀県米原市三吉570番地 米原市米原地域福祉センターゆめホール内

